

県 駅伝大会女子2位・男子3位入賞！甘楽中

第71回県中学校駅伝競走大会が11月13日、渋川市総合公園陸上競技場および周辺コース(男子6区間16.7km、女子5区間11.01km)で開かれました。

地区大会で男女ともに優勝した甘楽中学校駅伝部は、県大会でも練習の成果を発揮し、女子が41分00秒で2位入賞、男子は56分30秒で3位入賞の素晴らしい成績を収めました。

男女チームは、12月5日に栃木県那須塩原市で行われる関東大会に出場します。



4年連続入賞の女子駅伝部

6年連続入賞の男子駅伝部



県大会に出場した選手は次のとおりです。(敬称略)

■ 女子駅伝部(区間・選手名・学年・区間順位)

- 1区:諏訪沙枝(2年・5位) 2区:黒澤 碧(2年・6位)
3区:佐藤杏音(3年・8位) 4区:外所加帆(1年・6位)
5区:落合優希奈(3年・1位)

■ 男子駅伝部(区間・選手名・学年・区間順位)

- 1区:谷川航太(3年・1位) 2区:茂木煌気(3年・4位)
3区:高橋 歩(3年・3位) 4区:清水翔和(2年・2位)
5区:飯塚亜文(3年・4位) 6区:三木陽太(3年・7位)

色づいたまちを満喫 もみじウオーク

第8回甘楽もみじウオークが11月13日に開かれ、町内外から約1,000人が参加しました。

昨年と同様に受付後は自由散策となり、参加者はおすすめコースを参考にもみじが映える紅葉山公園や甘楽総合公園、城下町小幡の史跡やまち並みを巡り、秋の一日を満喫しました。

また、発着点の小幡公園では、甘楽日曜朝市会(結城 孝会長)による朝市や稲含山の清流水をボトルリングした「かんらの天水」の販売が行われました。



採れたて野菜が販売された朝市



木々の紅葉が美しい総合公園を歩く参加者

文部科学大臣表彰受賞 ジュニアソフトテニスクラブ



スポーツ庁の生涯スポーツ功労者および生涯スポーツ優良団体表彰で、甘楽町ジュニアソフトテニスクラブ（外所淳也代表・団員49人・左写真）が団体表彰を受賞しました。

これは、地域におけるスポーツの健全な普及と発展に貢献し、顕著な成果をあげた個人・団体を文部科学大臣が表彰するものです。

同クラブは、1997年から小中学生を対象にソフトテニスの普及に取り組み、試合や行事へ積極的に参加し大会運営も行うなど、地域のスポーツ振興や青少年の健全育成に貢献しています。

サツマイモ掘りで交流 かんら保育園

かんら保育園では、10月にサツマイモの収穫体験を行いました。

これは、白倉の吉田藤太郎さんと落合秀民さんのご厚意により実現したもので、4歳児41人が10月18日に落合さんの畑で、10月26・27日には2・3歳児と保護者123人が吉田さんの畑で収穫を行いました。

園児たちは土の中に大きなサツマイモを見つけると、元気な声を響かせながら一生懸命掘り起こしました。

農産物の収穫の喜びを身近で感じ、食べ物の大切さを知るとともに、地域の人と交流できる良い機会となりました。



環境美化活動で町をきれいに ぐらしの会

甘楽町ぐらしの会（櫻井光江会長・会員40人・左写真）は11月19日、町内のごみ拾いによる環境美化活動を行いました。

今回は秋の観光シーズンに合わせ、地区ごとに分かれて活動を行い、空き缶や弁当の空箱、たばこの吸い殻など軽トラック1台分のごみを回収しました。

櫻井会長は「以前に比べて道端に捨てられているごみの量は少なくなりましたが、引き続きごみのないきれいな町を目指して活動を続けていきます」と話されました。



健康増進・食生活改善に貢献 吉田さん

保健事業等功労者知事表彰の表彰式が11月9日、県庁昭和庁舎正庁の間で開かれ、町からは吉田ひろ子さん(上野)が健康増進(栄養・食生活改善)事業で表彰されました。

吉田さんは、長年にわたり町食生活改善推進協議会の会員として活動し、役職も歴任されました。行政や関連機関と連携して新しい事業にも積極的に取り組み、会の活動を活性化させるとともに、地域住民への食育の推進にも大きく貢献されました。

吉田さんは「これからも会員として地域の人たちの健康増進に関わっていきたいと思います。また、若い会員が増え、食改推が発展していくことを願っています」と話されました。



県文化奨励賞を受賞 鉢植クラブ



群馬県の文化の振興・発展に顕著な功績のあった個人と団体を表彰する群馬県文化奨励賞の表彰式が11月10日、県庁昭和庁舎正庁の間で開かれました。

町からは、団体の部で甘楽町鉢植クラブ(田中宏一会長・会員25人・左写真)が受賞しました。

同クラブは、昭和49年に設立し、47年の長きにわたり盆栽の技術向上・普及啓発などの活動を続けてきました。年3回開催する展示会や、年2回の盆栽教室を通じて、町民をはじめ多くの人々に盆栽の魅力を発信し、地域の文化振興に寄与している功績が認められました。

日頃の活動の成果を発表 文化協会展示会

甘楽町文化協会(中野薫明会長)の展示会が11月3～7日に長岡今朝吉記念ギャラリーで開かれました。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、同協会の7団体が1年間活動した成果を展示し、計277人が来場しました。



写真や短歌の展示



鉢植えの展示

優良青年農業者表彰 高野さん

高野一馬さん（小幡）は第57回県優良青年農業者表彰を受賞しました。これは、未来に向かって活力ある農業・農村の確立に取り組み、優れた成果をあげている青年農業者を表彰するものです。

高野さんは平成21年に町に定住し、ナスや長ネギなどを生産しています。自然塾寺子屋やJA青年部に所属し地域の農業振興に寄与するとともに、販路開拓による経営改善の取り組みや耕作放棄地を利用した都市部の人たちとの交流も行っています。

高野さんは「地域の方々にご指導いただきながら取り組んできました。将来は法人化を目指し、雇用の創出や農業の魅力を発信し、地域の活性化につなげたいです」と話されました。



あすなるジュニア Aクラス8強に



第40回県スポ少秋季バレーボール交流大会兼第45回県小学生総体バレーボール競技会が10月24・31日に子持社会体育館ほかで開かれました。あすなるジュニア（池田多春監督・部員25人・左写真）は県内参加44チーム中上位12チームによるAクラスでベスト8入りを果たしました。

新井結乃キャプテンは「コロナ禍で試合ができるか不安でしたが、大会開催をいただいた関係者に感謝しています。関東大会に出場できないのは悔しいですが、次の大会では優勝できるようにがんばります」と話してくれました。

旧秋畑小校庭でユニークな運動会 稲含塾

野外活動グループ稲含塾（浅香勇二代表）は11月14日、旧秋畑小学校校庭で「おもしろ運動会」を開きました。町内の小学生と保護者ら約70人が参加して「かごが動き回る玉入れ」や「新聞紙でボール運び」など10種目に挑戦し、普段は静かな校庭に親子の元気な声が響き渡りました。

稲含塾は町民有志が10数年前から活動し、登山や川遊びなど子どもたちにさまざまな自然体験の機会を提供してきました。運動会は初めての企画で、参加者は赤城・榛名・妙義の団に分かれて競技を行いました。

母親と参加した森田花絵さん（小幡小3年）は「学校の運動会とは違った、珍しくて面白い種目があった。団のみんなと協力しながら楽しめた」と話していました。



大人も交ざって団別リレー



みんなで輪になってレクダンス